

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

現在、地質調査をメインにした仕事に従事しており、今思うと特に地質が好きであった訳でもなく、なぜ現在の職業を選択したかは不思議なところ です。

技術士の受験動機は、この分野の技術者として、社会に認められるためには技術士の取得が近道と 考えたからです。それと工学部出身ということで 理学部の地質分野出身者に対する劣等感を克服し

たいという思いもあったかもしれません。試験に合格した当時は、先輩から技術士を取得してからが、 技術者としてのスタートだとよくいわれ、現在はその意味がようやく理解することができるようになりました。これは、資格取得に甘んじることなく、自己研鑽に励み、常に高度な知識と技術を継続的に取得し、社会に貢献していくことが技術者としてのあるべき姿ということだと思っています。

私は、資格取得によっていろいろな技術者と知り合い、対等に議論をすることができたなど大きなメリ ットを享受することができました。ただ、技術士資格は、業界内の知名度は十分高いですが、一般市民の間での知名度を考えるとまだまだ低いのが残念です。友人に技術士を取得したことを言っても、「そ うなの」とか、「どんな資格なの」とか、肩すかしの状態でした。

今後は、このような状況を打破し、技術士の地位・知名度の向上を目指していくつもりです。たまに テレビで弁護士が主人公のドラマをみるがありますが、そのうち技術士が主人公のドラマが放送さ れればいいなと思うところです(主人公は女性凄腕技術士として女優の綾瀬はるかさんを希望します)。

## 熊倉 聡 (くまくら さとし)

● 応用理学部門(地質)

### 勤務先

株式会社 ドーコン  
環境事業本部地質部

→ 次号は、畔原 孝典さん(応用理学部門)



私は釧路市に生まれ、高校を卒業するまで釧路 で過ごしました。その後、室蘭の大学に進み、大 学ではコンピュータを用いた分子の構造最適化に ついて研究していました。1994年(平成6年)に 現在の会社に就職し、主に水質に関する環境調査 に携わってまいりました。

生来私は勉強嫌いの人間で、建設・環境関連の

コンサルタントがどんな仕事をしているのか、仕事に携わる技術者としてどんな資格が必要なのか、就 職するまで全く知りませんでした。入社直後から上司には「技術士を目指せ」と言われ続けていましたが、 仕事を覚え、日々の業務をこなすのが精一杯で、技術士試験は何年も避け続けていました。しかし、会 社命令でイヤイヤ受けた2004年(平成16年)の一次試験でまさかの合格を果たし、調子に乗って二次 試験挑戦を始め、7年を費やして3部門の技術士資格を取得することができました。正直、諸先輩に 比べて技術士を名乗るのは恥ずかしい私ですが、受験で得た経験から、これから技術士資格取得を目指 す方々の心理的なハードルを下げることに貢献できたらと思い、現在は地域の技術士のかたがたと一緒 に、二次試験の受験者を対象とした勉強会のお手伝いをさせていただいております。また、技術士のひ とりとして、自身の専門分野を通じ、地域社会の環境保全や持続可能な地域づくりに少しでも貢献がで きるよう励んでまいりたいと思っております。今度ともよろしくお願い致します。

## 鈴木 正裕 (すずき まさひろ)

● 総監・環境部門(環境測定)  
建設部門(建設環境)

### 勤務先

環境コンサルタント株式会社  
suzuki-m@kankyocon.co.jp

→ 次号は、清水 慎吾さん(建設部門)

